

防災訓練等指導業務報告書

リーダー	ファシリテータ	ファシリテータ	ファシリテータ	ファシリテータ	事務局長	事務局

研修団体名	新居浜市立泉川中学校			住所	新居浜市星原町7-8	電話	43-5800
研修日時	令和6年03月12日 火曜日	9時00分～12時00分		研修対象者	中学生 3年生 12クラス	研修人数	98人
研修場所	新居浜市立泉川中学校 体育館			研修目的			
講師	馬越 健	ファシリテータ	近藤雅義、菅秀臣	オブザーバー	菅春樹、衣川祐二、岡部修治、小野、泉川防災士5名		

事前打合せ

日時	令和6年03月01日 金曜日 16時00分～17時00分	場所	新居浜市立泉川中学校 会議室
参加者 研修者	教頭・担当者 2名	参加者 ネットワーク	馬越リーダー

訓練等指導報告

・ HUG研修の感想

- 人の配置が難しかった、大変だった。災害について学ぶことができ本番をイメージしてゲームを出来た。仮設トイレやシャワーなどの設置する場所が難しく、避難された人達の心のケアが大事であり様々なひとの要求を聞くことがたいへんである。

- 動物を飼っている人、病気の人の区別を行い1人1人の要望に応えることが難しかった。情報量が多く整理することが大変であり利用出来る物は利用した対応が必要である。

もし災害が起きたら今日学んだことをいかして、自分ができる事を見つけ出して先頭にたって取り組んでいきたい。

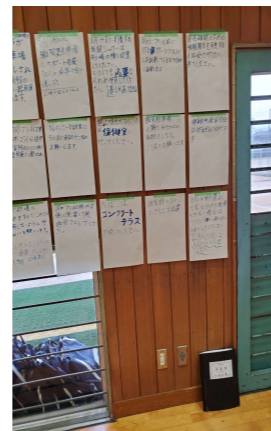
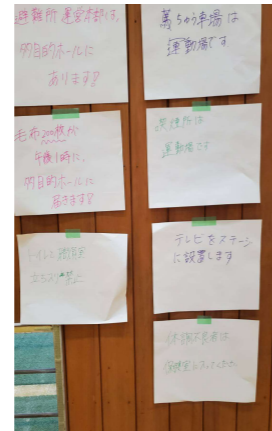
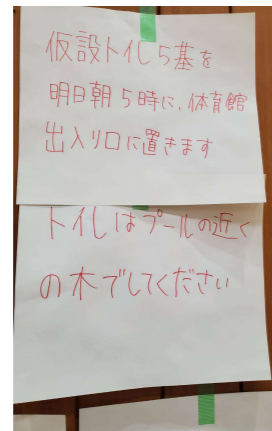
- 限られた部屋の数の中で、配置を考える事が難しかった。この活動を通して自分ことだけでなく周りのことも考える事が大切だと分かりました。

- 一つのイベントにかけられる時間が短いので色々考える事が大変であった。小さい子供や高齢者、障がい者の方々への教室の振り分けが大変だった。

実際に災害が起きても周囲の人と協力して対応をしていきたい。

- 通路のアクセスの良さを考えて、障がいを持っている人への対応、部屋の効率の良い分け方などを効率的に振り分けなければいけない。

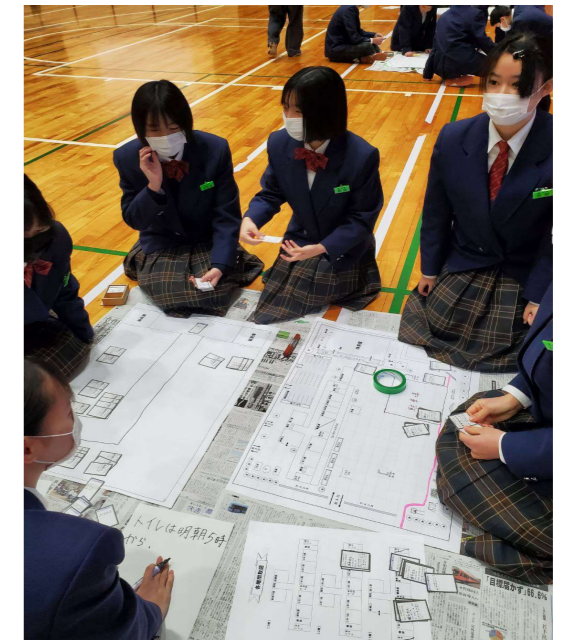
実際にゲームを行い災害時にはあまりにも時間が無いことが分かった。



発行番号No.230010

令和6年03月12日

訓練等指導報告



・ 講師寸評

中学3年生になると、大人びた考えをする生徒さんもありました。例えば避難所には、心のケアができる人を配置などとした方が良いのではとの意見もあり頼もしくおもしろかったです。自分たちでもできる事があるので手伝いをします、などうれしくなりました。(男子生徒)